平成２６年度

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書

≪平成２５年度事業対象≫

宇城市教育委員会

目　次

1　点検及び評価の概要

（1）　点検及び評価の目的　・・・・・・・・・・・　1
（2）　評価委員の知見の活用　・・・・・・・・・・・　1
（3）　点検及び評価の対象　・・・・・・・・・・・　1
（4）　宇城市教育委員会評価委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・　1

2　教育委員会の活動状況

（1）　宇城市教育委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・　2
（2）　平成２５年度教育委員会の会議状況　・・・・・・・・・・・　2～5
（3）　その他の会議状況　・・・・・・・・・・・　5

3　教育委員会事務局の組織と事務分掌

（1）　事務局組織図　・・・・・・・・・・・　6
（2）　事務局及び事務分掌　・・・・・・・・・・・　7～8

4　点検及び評価

教育課程特例校事業　・・・・・・・・・・・　9
国際国内交流事業　・・・・・・・・・・・　10
奨学金事業　・・・・・・・・・・・　11
就学援助費（要保護・準要保護児童生徒援助費補助事業）　・・・・・・・・　12
幼稚園就園奨励費補助事業　・・・・・・・・・・・　13
不登校対策宇城っ子ネット事業　・・・・・・・・・・・　14
水俣に学ぶ肥後っこ教室事業　・・・・・・・・・・・　15
豊野小学校改築事業　・・・・・・・・・・・　16
学校プール整備事業　・・・・・・・・・・・　17
非構造部材改修事業　・・・・・・・・・・・　18
大規模改修事業（小川小学校特別教室棟改修工事・小中学校トイレ改修工事）・　19
公文書整理（アーカイブズ）業務　・・・・・・・・・・・　20
文化財調査保存及び指定業務　・・・・・・・・・・・　21～22
美術館施設収蔵庫管理業務　・・・・・・・・・・・　23
宇城市体育協会補助金　・・・・・・・・・・・　24
各種スポーツ大会・教室開催に関する業務　・・・・・・・・・・・　25～27
三角西港国重要文化財詳細測量業務委託事業　・・・・・・・・・・・　28
学校給食提供事業　・・・・・・・・・・・　29～30
学校給食施設維持管理事業　・・・・・・・・・・・　31～32

放課後子ども教室事業 ・・・・・・・・・・・ 33
地域教育コーディネーター育成・活用事業 ・・・・・・・・・・・ 34
宇城っ子のつどい ・・・・・・・・・・・ 35
「宇城市教育の日」フェスティバル ・・・・・・・・・・・ 36
人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務 ・・・・・・・・・・・ 37～38
人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務 ・・・・・・・・・・・ 39～40
講座の開設、運営に関すること ・・・・・・・・・・・ 41
各種講座運営業務 ・・・・・・・・・・・ 42
各種講座運営業務 ・・・・・・・・・・・ 43
図書館蔵書充実事業 ・・・・・・・・・・・ 44

1　点検及び評価の概要

（1）　点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条第１項の規定により、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。また、これを議会に提出するとともに、公表することで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

（2）　評価委員の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条第２項の規定により、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検・評価（自己評価）について４人の評価委員から様々なご意見、ご助言をいただきました。

（3）　点検及び評価の対象

点検及び評価の対象事業は、平成２５年度に実施したものの中から事業費が多額な事業、社会的関心が高い事業、在り方の検証が必要な事業及び主要・重点に取り組んだ事務事業の２９事業を選定しました。

（4）　宇城市教育委員会評価委員会委員名簿

役　職	氏　名
委員長	村田　寛
副委員長	小田原　弘則
委員	池田　隆美
委員	岩永　理恵

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２７条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第３項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2　教育委員会の活動状況

（1）　宇城市教育委員会委員名簿（平成２５年４月１日現在）

職名	氏　　名	委員就任年月日	現任期
委員長	大槻　　英	平成23年3月24日	平成23年3月24日 平成27年3月23日
委　員 (職務代理者)	吉崎　道昭	平成22年3月12日	平成22年3月12日 平成26年3月11日
委　員	小野　隆夫	平成22年3月12日	平成22年3月12日 平成26年3月11日
委　員	佐髙　久美	平成23年5月26日	平成25年3月12日 平成29年3月11日
委　員	木村　紀雄	平成24年3月24日	平成24年3月24日 平成28年3月23日
教育長	藤本　忠晴	平成22年4月 2日	平成22年4月 2日 平成26年4月 1日

※　宇城市教育委員会委員定数条例
　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第３条ただし書の規定に基づき、宇城市教育委員会の委員の定数は、６人とする。

（２）平成25年度　教育委員会の会議状況

◇４月定例会　　日時：平成25年4月19日（金）
　　場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］宇城市教育目標の制定について
専決処分の報告について
・宇城市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
・宇城市教育委員会事務局処務規程の一部改正について
・宇城市小中学校管理規則の一部改正について
・宇城市小中学校部活動補助金交付要綱の制定について
・宇城市各種大会出場補助金交付要綱の一部改正について
・宇城市立学校の学校評議員の委嘱について
・宇城市文化財保護審議会委員の委嘱について
・宇城市公民館運営審議会委員の委嘱について
・宇城市中央公民館長の任命について
・宇城市社会教育指導員の委嘱について
・宇城市地域人権教育指導員の委嘱について
・宇城市青少年教育担当指導員の委嘱について
・宇城市社会教育委員の委嘱について
・宇城市スポーツ推進委員の委嘱について
・区域外就学について
・学校変更の承認について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の認定について

◇５月定例会　　日時：平成25年５月27日（月）
場所：宇城市役所３階　第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］平成２５年度宇城市奨学生の認定について
専決処分の報告について
・宇城市招致外国青年任用規則の一部改正について
・宇城市働く婦人の家条例施行規則の一部改正について
・宇城市教育委員会事務専決規程の一部改正について
・宇城市教育委員会公印規程の一部改正について
・宇城市働く女性の家運営審議会委員の委嘱について
・宇城市不知火美術館運営協議会委員の委嘱について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇６月定例会　　日時：平成25年６月26日（水）
場所：宇城市役所３階　第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］専決処分の報告について
・宇城市人権教育推進協議会委員の委嘱について
・宇城市学校給食運営委員会委員の委嘱について
・宇城市図書館協議会委員の委嘱について
・宇城市文化ホール運営審議会委員の委嘱について
・宇城市不知火美術館休館日について
区域外就学について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇７月定例会　　日時：平成25年７月23日（火）
場所：宇城市役所３階　第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇８月定例会　　日時：平成25年８月20日（火）
場所：宇城市役所３階　第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］区域外就学の承認について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇９月定例会　　日時：平成 25 年 9 月 20 日（金）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］専決処分の報告について
・宇城市不知火美術館運営協議会委員の委嘱について
・学校変更の承認について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇１０月定例会　　日時：平成 25 年 10 月 10 日（金）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇１１月定例会　　日時：平成 25 年 11 月 21 日（木）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇１２月定例会　　日時：平成 25 年 12 月 19 日（木）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］区域外就学の承認について
学校変更の承認について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

◇１月定例会　　日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］宇城市立幼稚園条例を廃止する条例の制定について
専決処分の報告について
・区域外就学の承認について
区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇２月定例会　　日時：平成 26 年 2 月 17 日（月）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］専決処分の報告について
・宇城市就学援助費扶助要綱の一部改正について
・区域外就学の承認について
・宇城市人権教育推進協議会委員の委嘱について
学校変更の承認について
消費税増税に伴う施設使用料の改定について

◇３月臨時会　　日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

教育長報告
［議題］宇城市立小・中学校教員の人事異動の内申について

◇３月定例会　　日時：平成 26 年 3 月 19 日（水）
場所：宇城市役所３階 第１会議室

前回会議録の承認　／　教育長報告
［議題］専決処分の報告について
・宇城市立小中学校管理規則の一部改正について
・学校変更の承認について
学校変更の承認について
区域外就学の承認について
宇城市教育委員会委員長の選挙について
宇城市教育委員会委員長職務代理者の選任について
宇城市教育委員会議席の決定について

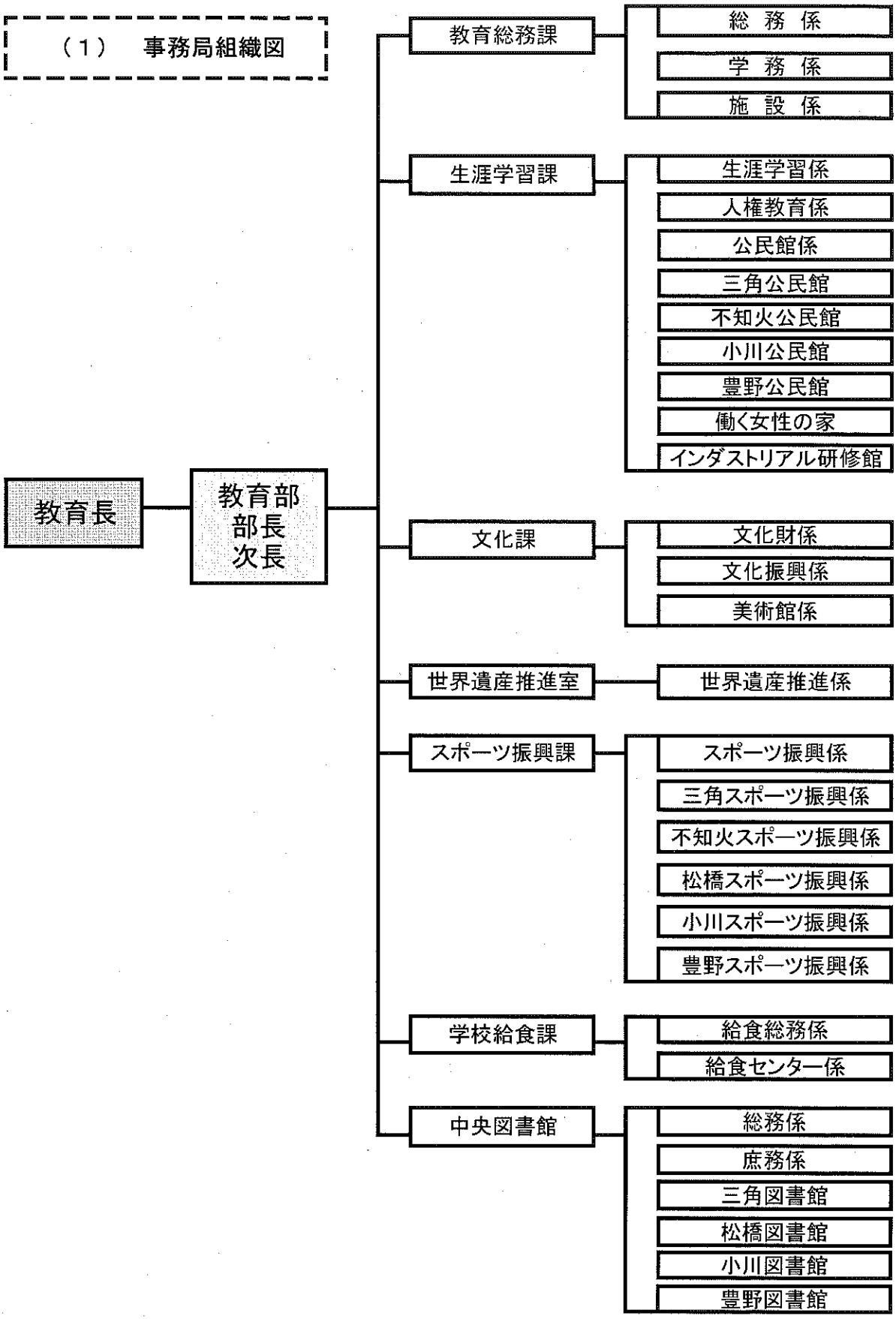
（３）　その他の会議状況

・宇城市町教育委員全員研修会
・教育委員行政視察研修
・学校訪問
・各小中学校入学式・卒業式
・各学校運動会
・成人式典
・学校給食試食会
・その他各種イベント等への出席

3　教育委員会事務局の組織と事務分掌

＜H26.4.1現在＞

（1）　事務局組織図



（2）　事務局及び事務分掌

平成26年4月1日現在

課名	係名	事務分掌
教育総務課	総務係	1　教育委員会の会議に関すること。 2　教育委員会の総括に関すること。 3　条例、規則及び規程等の制定改廃に関すること。 4　公告式に関すること。 5　公印の管理に関すること。 6　文書の収受、発送及び保管に関すること。 7　訴訟及び不服申立て並びに請願及び陳情に関すること。 8　教育委員会職員(県費負担教職員を除く。以下同じ。)の人事、給与及び服務に関すること。 9　教育委員会の臨時、非常勤職員に関すること。 10　教育委員会職員の研修及び福利厚生に関すること。 11　叙位、叙勲事務に関すること。 12　教育行政相談に関すること。 13　奨学金に関すること。 14　教育調査統計に関すること。 15　独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。 16　国際交流に関すること。 17　語学指導に関すること。 18　課の庶務に関すること。 19　その他教育総務に関すること。
	施設係	1　学校教育施設の設置及び管理に関すること。 2　学校教育財産の取得及び処分に関すること。 3　学校教育施設の維持管理に関すること。 4　学校教育施設の工事の設計、施工及び監理に関すること。 5　学校施設台帳に関すること。 6　その他学校教育施設・社会体育施設に関すること。
	学務係	1　県費負担教職員(以下「教職員」という。)の人事及び給与の内申に関すること。 2　学級編制及び教職員の配置に関すること。 3　教職員の免許申請に関すること。 4　学校等の設置、廃止及び統合に関すること。 5　学校運営管理及び教育内容の指導に関すること。 6　通学区の設定に関すること。 7　学校及び幼稚園の予算に関すること。 8　就学援助に関すること。 9　教科用図書の給与に関すること。 10　スクールバスの運行に関すること。 11　児童生徒の就学及び転学に関すること。 12　学齢簿の作成及び整理に関すること。 13　学校保健、環境衛生に関すること。 14　学校人権教育に関すること。 15　就学指導に関すること。 16　幼稚園教育に関すること。 17　幼稚園就園奨励に関すること。 18　幼稚園の授業料に関すること。 19　教育課程の研究指導に関すること。 20　学習指導の助言に関すること。 21　生活指導及び進路指導に関すること。 22　教科用図書の採択研究及び学習資料に関すること。 23　教職員の研修に関すること。 24　情報教育に係る機器整備に関すること。 25　その他学校教育に関すること。
学校給食課	給食総務係	1　学校給食に関すること。 2　給食に必要な物資の購入及び支出に関すること。 3　給食器具の洗浄、消毒及び保管に関すること。 4　文書の収受、発送及び保管に関すること。 5　会計及び経理に関すること。 6　施設設備の維持管理に関すること。 7　食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に関すること。 8　給食指導の計画及び実施に関すること。 9　課の庶務に関すること。 10　その他学校給食に関すること。
	給食センター係	1　学校給食センターに関すること。 2　給食に必要な物資の購入及び支出に関すること。 3　給食器具の洗浄、消毒及び保管に関すること。 4　文書の収受、発送及び保管に関すること。 5　会計及び経理に関すること。 6　学校給食施設の工事の設計、施行及び維持管理に関すること。 7　食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に関すること。 8　給食指導の計画及び実施に関すること。 9　その他学校給食センターに関すること。
生涯学習課	生涯学習係	1　社会教育に係る計画策定及び資料の作成に関すること。 2　社会教育委員に関すること。 3　生涯学習の推進に関すること。 4　成人教育に関すること。 5　社会教育団体の育成指導に関すること。 6　社会教育機関の連絡調整に関すること。 7　青少年の教育及び健全育成に関すること。 8　文書の収受、発送及び保管に関すること。 9　課の庶務に関すること。 10　その他生涯学習に関すること。

課名	係名	事務分掌
	人権教育係	1　人権教育の企画及び連絡調整に関すること。 2　人権教育指導員に関すること。 3　人権教育の指導及び助言に関すること。 4　人権教育の調査及び資料作成に関すること。 5　人権教育の研修に関すること。 6　人権教育に関する学習講座に関すること。 7　人権教育推進協議会及び人権教育関係団体に関すること。 8　その他人権教育に関すること。
	公民館係 三角公民館 不知火公民館 小川公民館 豊野公民館 働く女性の家 インダストリアル研修館	1　公民館講座の開設及び運営に関すること。 2　公民館事業の企画、立案及び指導に関すること。 3　公民館運営審議会に関すること。 4　関係諸団体及び組織との連絡調整に関すること。 5　自治公民館に関すること。 6　公民館の維持管理に関すること。 7　家庭教育学級に関すること。 8　視聴覚教育に関すること。 9　社会教育指導員に関すること。 10　課の庶務に関すること。 11　その他公民館に関すること。
文化課	文化振興係	1　芸術文化の振興及び育成に関すること。 2　文化のまちづくりの推進に関すること。 3　芸術文化団体に関すること。 4　文化ホールに関すること。 5　美術館に関すること。 6　文書の収受、発送及び保管に関すること。 7　その他文化振興に関すること。
	文化財係	1　文化財の調査、保存及び活用に関すること。 2　文化財愛護思想の普及に関すること。 3　郷土資料館に関すること。 4　文化財保護審議会に関すること。 5　その他文化財に関すること。
	美術館係	1　美術館に関すること。
世界遺産推進室	世界遺産推進係	1　世界遺産の登録の推進に関すること。 2　世界遺産の保存管理に関すること。
スポーツ振興課	スポーツ振興係 三角スポーツ振興係 不知火スポーツ振興係 松橋スポーツ振興係 小川スポーツ振興係 豊野スポーツ振興係	1　スポーツの調査、振興及び普及に関すること。 2　体育指導委員会に関すること。 3　各体育団体の育成に関すること。 4　各種スポーツ大会開催に関すること。 5　地域スポーツ活動の推進に関すること。 6　スポーツ事故等災害見舞金に関すること。 7　スポーツ安全協会傷害保険に関すること。 8　社会体育施設の維持・管理に関すること。 9　社会体育施設の設置に関すること。 10　社会体育施設の施設台帳に関すること。 11　社会体育施設の工事の設計・施工及び監理に関すること。 12　体育振興関係団体との連絡調整に関すること。 13　文書の収受、発送及び保管に関すること。 14　学校体育施設の開放に関すること。 15　課の庶務に関すること。 16　その他社会体育施設、スポーツ振興に関すること。
中央図書館	総務係	1　図書館運営全般に関すること。 2　図書館協議会に関すること。 3　宇城地区図書館等活動振興協議会に関すること。 4　各図書館の連絡調整に関すること。 5　図書館の維持管理に関すること。 6　臨時、非常勤職員の任用に関すること。 7　予算・決算に関すること。 8　その他図書館の庶務に関すること。
	奉仕係	1　図書館事業の企画、立案及び指導に関すること。 2　学校・団体等への読書サービスに関すること。 3　図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 4　図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。 5　読書相談及び参考業務に関すること。 6　資料の除籍に関すること。 7　その他図書館奉仕に関すること。
	三角図書館 松橋図書館 小川図書館 豊野図書館	1　図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 2　図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。 3　読書相談及び参考業務に関すること。 4　その他図書館奉仕に関すること。 5　その他図書館庶務（中央図書館に属するものは除く。）に関すること。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　総務係

事業名	教育課程特例校事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	08	地域内・国内・国際交流					
	1	交際交流の充実と国際化の推進					
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計	
予算額(千円)					22,565	22,565	
決算額(千円)					22,215	22,215	
執行率(%)					98.4	98.4	
人件費(千円)					1,500	1,500	
決算額＋人件費					23,715	23,715	

事業の目的

平成17年度内閣府から「国際理解教育特区」の認定を受け、小中学校9年間を通して、21世紀の国際社会に貢献できる、豊かで、知性あふれ、個性に満ちた児童生徒の育成を図るための事業である。なお、本認定は、平成21年4月から文部省の「教育課程特例校」と名称を変更する。また、平成24年度からは、小学1年～6年生までを対象とした英会話科の実施となっている。

平成２５年度　事業内容

小学校：英会話科「うきうきイングリッシュ」の実施

1年～2年生（年間35時間）・・・ゲームや歌などの活動を通じて、簡単な英語を使ったあいさつや会話を楽しむ。

3年～6年生（年間35時間）・・・ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、日常生活における簡単なあいさつや会話ができる。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	全校児童数　3,205人 英会話授業実施時間数　210時間 英語が好きだと答えた児童割合95%	全校児童数　3,206人 英会話授業実施時間数　210時間 英語が好きだと答えた児童割合95%

事務局自己評価		
	評価	各小学校において、ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、英会話の魅力を子どもたちに伝える事業ができた。
	課題	英会話を通して国際感覚を子どもたちに身に付けさせるためには、非常勤講師の指導能力の向上が必要である。
	今後の対応	非常勤講師の指導能力向上のため、積極的に全員研修会等を行い、個々のスキルアップを目指す。

有識者意見	今後も指導者の資質向上を図りながら存続してほしい。又、ＡＬＴを効率よく授業に取り入れていくかが課題である。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	ＡＬＴ再雇用が、今後の課題と思われる。本当に教育現場に必要なのか検証して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　総務係

事業名	国際国内交流事業	
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	08	地域内・国内・国際交流
	1	交際交流の充実と国際化の推進

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					3,688	3,688
	決算額(千円)					3,540	3,540
	執行率(%)					96.0	96.0
人件費(千円)						2,490	2,490
決算額＋人件費						6,030	6,030

事業の目的

平成17年度から夏休みの期間中、異文化との交流や体験を通じて豊かな国際感覚を身に付ける青少年の育成を目的とする。

平成２５年度　事業内容

市内中学校から募集し、英語圏（シンガポール）・中国語圏へ海外派遣し、ホームステイによる生活体験、現地学校生徒との交流及び学校等の訪問の国際親善活動に参加する。

諸事情により平成25年度は中国語圏への派遣は中止。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	派遣生徒数20名（英語圏10名、中国語圏10名）	派遣生徒数16名（英語圏のみ）

事務局自己評価		
	評価	お互いの文化や歴史、風習などと触れ合うことで国際理解を深めるとともに語学力の向上や国際社会におけるコミュニケーション能力の醸成など人材育成の観点からも重要な事業となっている。
	課題	派遣生徒の募集において、参加希望者が定数を超えた場合、生徒選定の際の線引きが困難である。
	今後の対応	一人でも多くの生徒が参加できる環境づくりを行う。
有識者意見	シンガポール派遣の生徒達に、各学校か各学年あるいはクラス単位での報告会をしてほしい。そうすることで他の生徒たちも興味が出てくると思うので、このまま継続してほしい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	今後は、英語圏一本化で計画して頂きたい。 また、多くの生徒が希望し参加できる環境づくりを目指す必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　総務係

事業名	奨学金事業
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					23,611	23,611
	決算額(千円)					23,610	23,610
	執行率(%)					99.9	99.9
人件費(千円)						2,250	2,250
決算額＋人件費						25,860	25,860

事業の目的

学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は専修学校の高等課程若しくは専門課程に在学する者で、経済的理由により就学が困難なものに対し奨学金の貸付けを行い、社会に貢献し得る人材の育成を図ることを目的とする。

平成２５年度　事業内容

◆貸付対象者
1．本市に居住する人の被扶養者
2．学校等に在学している人
3．経済的理由により就学が困難であると認められる人
4．国、他の地方公共団体又はその他の団体から奨学金の貸付け措置を受けていない人

◆貸付金額および定数
1．高等学校など　月額２万円（定数１０人）
2．短期大学など　月額２万５千円（定数１０人）
3．大学　　月額３万円または５万円の選択（定数２０人）

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	貸付者数　１５人	貸付者数　１４人

事務局自己評価		
	評価	滞納者に対しての文書及び電話による返済相談の実施や家庭訪問による催告を行い昨年度より過年度分の返済収入が増えた。
	課題	貸付後の滞納者をいかに完済に導くかが課題である。
	今後の対応	今後も文書及び電話による返済相談の実施や家庭訪問による催告。また、督促状の発送を行い、返還金の確保に努める。 また、宇城市奨学金条例施行規則の見直しを行い、適正な貸付けを行う。
有識者意見	滞納の解消と返済を促しながら返済率を高めてほしい。是非事業を継続して頂きたい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	宇城市奨学金条例施行規則の見直しは必要である。今後は、滞納者への返還強化を図り、健全な奨学金貸付事業を行う必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　学務係

事業名	就学援助費（要保護・準要保護児童生徒援助費補助事業）
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)	90				47,505	47,595
	決算額(千円)	90				47,115	47,205
	執行率(%)	100				99.2	99.2
人件費(千円)						2,625	2,625
決算額＋人件費		90				49,740	49,830

事業の目的

経済的理由により就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を援助することにより義務教育の円滑な実施に資する

平成２５年度　事業内容

①保護者から学校を通じて申請があり、準要保護世帯を認定
②要保護及び準要保護世帯に対する就学援助費を決定
③年３回支払い

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	認定件数　594人	認定件数　631人

事務局自己評価		
	評価	本件の実施は行政の責務であり、目的も達成できていると言える。本年度から保護者がより申請しやすいよう、様式や事務処理の方法を改善したが、業務に携わる時間を短縮できたとは言い難い。
	課題	事務処理については、簡素化に向け随時改善を行っているが、例年６００人程の対象者がおり、かつ異動や状況の変化等から常に支給額の計算を行っている。今後、効率性と正確性のためシステム導入を検討する。
	今後の対応	簡便に事務処理できるシステムの作成と、制度の更なる理解が必要だと考える。
有識者意見	適正に援助ができるように事業を続けて頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	システムの早期構築を図り、簡便な事務処理を行う必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　学務係

事業名	幼稚園就園奨励費補助事業
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)	9,976				36,789	46,765
	決算額(千円)	9,976				36,277	46,253
	執行率(%)	100				98.6	98.9
人件費(千円)						1,875	1,875
決算額＋人件費		9,976				38,152	48,128

事業の目的

保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の経済的負担を軽減すると共に、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差是正を図る事を目的として、幼稚園に通う園児の保護者が負担する入園料及び保育料を減免（軽減）する事業である。

平成２５年度　事業内容

設置者が、宇城市内に住所を有し、当該幼稚園に在園する満３歳、３歳、４歳及び５歳児の保護者に対し、保育料等を減額又は免除する場合に、当該設置者に対し補助を行う。ただし、同一世帯で児童(18歳に達する日以後の最初の３月31日までの間にある者)を３人以上養育している保護者に対して、第３子以降の保育料等を免除し、当該設置者に対し補助を行う。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	３歳、４歳、５歳児の園児数　366人 減免措置に関する申請件数　356件 就園奨励費補助金　38,513千円	３歳、４歳、５歳児の園児数　380人 減免措置に関する申請件数　374件 就園奨励費補助金　46,253千円

事務局自己評価		
	評価	世帯区分により経済的負担を軽減するための幼稚園への補助であり、現行どおり行政が行い、かつ必要性も高い。国の事業であるが、対象の判定と補助額の算出に関して、新たに様式を作成し、昨年と比して本件に携わる時間は短縮できている。
	課題	国の制度見直しで事業費が年々増加傾向であり、第３子保育料無料化は市単独であることも含め、市の負担額が年々大きくなっている。
	今後の対応	第３子無料化事業の毎月支給の効率化を図りたい。また補助の要否判定を必要な情報から一括処理ができるシステム導入を検討し効率化に繋げる。

有識者意見	保育園の第３子無料化が、毎年増加してきており一般財源の持ち出しが非常に大きいため、将来的には見直しも視野に入れて今の時点では現状維持で事業を進めて頂きたい。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	今後の交付税削減に伴い、制度の見直しも考えて行く必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　学務係

事業名	不登校対策宇城っ子ネット事業					
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	01	学校教育				
	3	豊かな心と健やかな体の育成				
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
予算額(千円)					340	340
決算額(千円)					282	282
執行率(%)					82.9	82.9
人件費(千円)					750	750
決算額＋人件費					1,032	1,032

事業の目的

心理的または情緒的な原因等により不登校状態にある児童生徒に対し週２回、指導員及び学生ボランティアにより、学習支援や集団適応能力を育成することで学校復帰を支援し、社会的自立を育てる。

平成２５年度　事業内容

保護者や学校との連絡調整、必要に応じスクールカウンセラーの助言を受けながら、指導員のもと自立に向けた学習や集団適応能力を育成に取り組んだ。校外学習も取り入れ、個々の特性を活かす学習に繋げることができた。結果、徐々に各学級に復帰する生徒も見られた。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	不登校状態にある児童生徒　30人 宇城っ子ネット参加数　10人 不登校解消数　5人	不登校状態にある児童生徒　33人 宇城っ子ネット参加数　2人 不登校解消数　2人

事務局自己評価		
	評価	学校へは行けないが、ある程度外出できるような子どもが安心して通える「適応機能教室」として必要である。この事業に関わるスタッフに指導をお願いしているが、全てを任せるのではなく、教職員等がもっと理解し不登級解消に向け、ともに指導できることが望ましい。
	課題	不登校・不登級状態にある児童生徒について保護者、小中学校への周知及び指導主事とのこまめな連携を図ることで常に情報が収集できるシステムづくり。
	今後の対応	現在２人の指導員が対応しているが、事業の円滑な推進のため、心理的に不安のある児童生徒の心の相談窓口として専門的人材の採用を検討する。
有識者意見	健康福祉部局や児童センター、福祉事務所等の関係機関団体と連携して、個に応じた対応をしながら進めて頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	各関係部署と連携を取りながら、早期な対応を目指す必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　学務係

事業名	水俣に学ぶ肥後っこ教室事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	01	学校教育					
	4	時代の進展に対応した教育の推進					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)		600			670	1,270
	決算額(千円)		600			601	1,201
	執行率(%)		100			89.7	94.6
人件費(千円)						1,500	1,500
決算額＋人件費			600			2,101	2,701

事業の目的

水俣の現地または施設の訪問と体験を通して水俣病の正しい理解と公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、体感することで環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わる態度や能力を育成する。また、「水俣病」の原因と差別の歴史を学習し、差別や偏見をなくしていこうとする意識を高める。

平成２５年度　事業内容

市内小学校５年生を対象に、水俣市の環境関連施設を訪問し、語り部の方の話や環境問題についての講話を聴き、資料の閲覧、実験等を通して人権教育及び環境について学習した。
（訪問先：熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館等）

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	取り組み学校数　１３校	取り組み学校数　１３校

事務局自己評価		
	評価	公害の原点である「水俣病」を通して、公害の被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を現地を訪問し、体験を通して学ぶことができた。語り部の方の話を聞き、資料館等での学習で、差別の理不尽さと立ち上がり闘ってきた人の努力を学び、差別をなくしていく意欲が高まった。
	課題	環境学習、環境教育及び人権教育の推進に繋がっており、今後も積極的に取組んでいく。
	今後の対応	子供達が「水俣病」の正しい理解をし、環境問題及び人権問題について、自分の身近な問題に結びつけて考えられるような事業にしたい。
有識者意見	是非継続して事業を進めて頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	今後も引き続き、環境・人権問題を子ども達の身近な問題として理解し、差別をなくすための意欲を高める必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　施設係

事業名	豊野小学校改築事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	01	学校教育					
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上					
事業費 項目		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
予算額(千円)				79,700		4,317	84,017
決算額(千円)				79,700		4,276	83,976
執行率(%)				100		99.1	99.9
人件費(千円)						6,000	6,000
決算額＋人件費				79,700		10,276	89,976

事業の目的

耐震性が不足する豊野小学校校舎を改築することにより、学校施設の耐震化を推進する。

また、豊野中学校敷地に小学校校舎を改築することで、施設一体型小中一貫校として整備し、９年間を通した教育による学力の向上を図る。

平成２５年度　事業内容

豊野小中一貫校整備の最終年度として、旧豊野小学校の校舎解体及び跡地のグラウンド整備、小中学校の駐車場等の舗装整備を実施した。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	旧豊野小学校校舎解体　3,112 ㎡ グラウンド整備　3,960 ㎡ 豊野小中学校の駐車場整備　3,360 ㎡	旧豊野小学校校舎解体　3,112 ㎡ グラウンド整備　3,960 ㎡ 豊野小中学校の駐車場整備　3,360 ㎡

事務局自己評価		
	評価	平成23年度から３箇年にわたり整備を進め、平成25年４月に開校した。本年度は、耐震不足の小学校校舎を解体してグラウンドとして整備するとともに、駐車場も整備したことで、学校としての機能が拡充した。
	課題	豊野小学校及び中学校の要望事項として、小学校低・中学棟のカーテン設置、渡り廊下雨よけ設置、大雨時の体育館からの排水処理などの改修が求められている。
	今後の対応	平成26年度当初予算に低・中学年教室カーテン及び渡り廊下改修費用を計上して整備を行う。

有識者意見	豊野小学校改築事業については完了しているので特にありません。今後修繕等が出てくると思うので、適切な対応をお願いする。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・(完了)
	付帯意見	大きな改修工事は終わり、今後は維持修繕等が出てくると思われるので、学校との定期的な聴き取り等が必要である。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　施設係

事業名		学校プール整備事業					
政策施策名（総合計画）		5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
		01	学校教育				
		5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)			4,300		311	4,611
	決算額(千円)			4,300		310	4,610
	執行率(%)			100		99.7	99.9
人件費(千円)						375	375
決算額＋人件費				4,300		685	4,985

事業の目的

学校水泳プールについては、昭和40年代に8施設（当尾小、豊川小、小野部田小、海東小、小川小、松合小、松橋中、小川中）が建設され、既に40年を経過しているため、屋外プールをはじめ付属棟及び機械室も老朽化している。

学校における水泳プール等の体育施設を順次整備し、学校教育の円滑な実施並びにスポーツの振興に寄与する。

平成２５年度　事業内容

松橋中学校屋外プールは、周囲の外壁を含めて劣化が著しいため、既存の施設を解体して新たにプールを建設するための基本設計及び実施設計を行った。

	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
目標と実績	松橋中学校プール改築工事実施設計（新築基本・実施設計、既存解体）　1件 松橋中学校プール用地地質調査　1件	松橋中学校プール改築工事実施設計(新築基本・実施設計、既存解体)　1件 松橋中学校プール用地地質調査　1件

事務局自己評価	評価	予定のとおり松橋中のプール改築の計画及び概算事業費の把握が平成26年3月に完了した。この成果により平成27年度学校施設環境改善交付金の申請が可能となった。
	課題	松橋中学校の敷地は、埋蔵文化財包蔵地の範囲となるため、文化財の試掘調査を26年度中に行う必要がある。また、遺跡等が確認された場合は、発掘調査により工期を含めた改築工事の制約を受ける。
	今後の対応	松橋中学校及び文化課と協議調整を行い、文化財の事前試掘調査を平成26年秋ごろ実施する。27年度は、約10箇月を要するプールの改築期間及び約40日間の発掘調査の確保、並びに平成28年6月のプール供用が可能となるよう早期に発注する。28年度以降は計画的に整備を進める。
有識者意見	出来るだけ学校教育に影響の少ないような形で進めて頂きたい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	老朽化が進む中で、中長期計画に基づき築年数が古い順に改修を実施して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　施設係

事業名	非構造部材改修事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	01	学校教育					
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上					
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計	
予算額(千円)			5,800		424	6,224	
決算額(千円)			5,800		423	6,223	
執行率(%)			100		99.8	99.9	
人件費(千円)					750	750	
決算額＋人件費			5,800		1,173	6,973	

事業の目的

学校施設は子どもの学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たすため、その安全性の確保は極めて重要である。

このため、特に致命的な事故が起こりやすい屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策を推進する。なお、落下防止対策は、平成27年度までの完了が求められている。

平成２５年度　事業内容

平成27年度までに対策を求められている対象は、屋内運動場及び武道館で、高さ6m超又は面積200㎡超の一定規模以上の吊り天井、照明器具、バスケットゴールなど、高所に設置されたものの落下防止対策である。本年度は、小中学校23施設（屋内運動場18施設、中学校武道館5施設）のうち、吊り天井等を有する10施設について改修工事の実施設計を行った。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	屋内運動場非構造部材改修工事実施設計　10校	屋内運動場非構造部材改修工事実施設計 10校（三角小、青海小、松合小、小野部田小、河江小、海東小、豊野小、三角中、不知火中、松橋中）

事務局自己評価		
	評価	屋内運動場のうち、避難所となっている施設や吊り天井を有する施設など、優先順位の高い10施設について設計を完了した。併せて、学校施設環境改善交付金事業として9施設の申請を行い、26年2月28日に交付決定を受けた。
	課題	改修工事の際は、2箇月から4箇月にわたり屋内運動場や武道場等が使用できなくなるため、代替施設の確保や代替施設までの交通手段、授業や各種行事の振替えが必要となる。
	今後の対応	各小中学校と十分協議を行ったうえで、改修工事の施工期間を設定する。 残る13施設については、26年度の補正予算に実施設計費を計上し、27年度までの対策完了を目指す。
有識者意見	平成27年度完了を目指して事業を進めて頂きたい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	この事業は小中学校の全屋内運動場を対象にしており、平成27年度までの事業なので、事業進捗には十分配慮しながら完成を目指して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　教育総務課　施設係

事業名	大規模改修事業（小川小学校特別教室棟改修工事・小中学校トイレ改修工事）
政策施策名（総合計画）	5　ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	01　学校教育
	5　安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)	59,926		145,900		12,834	218,660
	決算額(千円)	59,926		125,600		11,180	196,706
	執行率(%)	100		86.1		87.1	90.0
人件費(千円)						6,375	6,375
決算額＋人件費		59,926		125,600		17,555	203,081

事業の目的

経年による学校建物の損耗や機能低下に対する復旧措置、トイレ整備等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。

平成２５年度　事業内容

小川小学校の特別教室棟は、屋根は漏水、外壁はモルタル剥落、内部においては床、天井、壁、電気・給排水設備等が老朽化して十分な機能が果たせない状況にあったため、屋根防水及び外壁塗装の外部改修と内部改修、備品の購入設置を行った。

また、近年トイレが洋式化している中で、学校ではその割合が少ない状況にあるため、和式から洋式への便器取替え、床のドライ化、ドア取替え、壁の補修等を実施した。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	小川小学校特別教室棟改修工事 972 ㎡ 小中学校トイレ改修工事 7校　1,545 ㎡	小川小学校特別教室棟改修工事　972 ㎡ 小中学校トイレ改修工事　7校　1,111 ㎡ （松橋小、当尾小、豊川小、豊福小、小川中、豊野中、松橋中）

事務局自己評価		
	評価	小川小学校は、特別教室棟を除き平成18年度に大規模改造を実施しており、本改修工事によって建物耐久性の向上と教育環境充実が図られた。 トイレ改修により質的向上が図られ、トイレ環境が大幅に改善した。
	課題	平成24年度のトイレ改修当初計画では、便器の取替えのみを行う予定であったが、床、ドア、壁の整備等も加えたため、13箇所、約430 ㎡が予算の関係から未改修となった。
	今後の対応	中長期的な整備計画に基づく学校建物ごとの計画的な老朽大規模改造や長寿命化改修事業の実施により、快適で過ごしやすい教育環境の整備を図る。 次年度には、当尾小及び豊福小の屋内運動場改修の実施設計に着手する。
有識者意見	学校教育に支障が無いように計画的に進めて頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	中長期計画に沿って、学校施設大規模改修が計画されている。今後も財政課等と十分な予算協議を行いスムーズな事業進行を行うよう努力して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　文化課　文化財係

事業名	公文書整理（アーカイブズ）業務					
政策施策名（総合計画）		施策内容に当てはまらない事務事業				
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
予算額(千円)					1,087	1,087
決算額(千円)					987	987
執行率(%)					90.8	90.8
人件費(千円)					3,750	3,750
決算額＋人件費					4,737	4,737

事業の目的

「公文書館法」に基づき、廃棄予定文書の中から歴史的資料として重要な公文書等の評価・選別を行い、市民及び行政の利用に供することを目的とする。

平成２５年度　事業内容

各課・支所等で廃棄される文書について、宇城市非現用文書評価選別基準で歴史資料の対象になる文書等を専用のダンボール箱に移し、豊野資料館文書保管庫に搬入する。シルバー人材センターと委託契約し、評価・選別を不知火支所３階の旧議場及び旧文化課の部屋にて作業を行う。

アーカイブズに該当しない文書は、職員がクリーンセンターへ持参して廃棄する。整理が済んだ文書は順次旧文化課の棚へ移動する。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	搬入ダンボール 200 箱	搬入ダンボール 415 箱

事務局自己評価		
	評価	年々廃棄文書の搬入数が減少していたが、本年度は研修会時に職員の意識を高めるために公文書の担当部署である総務課と連携を取り、搬入数が倍増した。
	課題	現在保管している資料が 1,300 箱を超えている。今後も増え続けるため保管場所、また公文書館開設が必要である。
	今後の対応	財政課等と協議し、有効な保存管理施設の確保
有識者意見	新たにアーカイブズの保存管理施設を確保する際には、管理体制に不備がないよう施設選定に十分注意をすること。また、市民等に対し情報開示が出来るようなシステム構築に向けて検討すること。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	有識者意見を踏まえて、引き続き歴史的資料として重要な公文書等の評価・選別を行い、市民及び行政の利用に供するよう励まれたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　文化課　文化財係

事　業　名	文化財調査保存及び指定業務	
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	04	文化・伝統
	2	文化遺産の保存と活用

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)	1,219			1,639	2,874	5,732
	決算額(千円)	1,219			1,638	2,206	5,063
	執行率(%)	100			99.9	76.8	88.3
人件費(千円)						9,570	9,570
決算額＋人件費		1,219			1,638	11,776	14,633

事業の目的

埋蔵文化財をはじめとする文化財全般の調査を実施することにより、文化財の保存・啓発を目的とする。また、県重要文化財指定「浄水寺古碑群附補修碑」の国指定への準備を行う。

平成２５年度　事業内容

埋蔵文化財包蔵地の有無の回答と、包蔵地内で掘削を伴う開発行為があるときに埋蔵文化財発掘届出・通知・文化財現状変更許可申請書を提出していただく。その後、遺跡の性格等によって調査方法を検討し、現地での予備・確認調査を行う。その後調査結果に応じて、事業の推進・文化財保護のための設計変更の協議を行う。また、浄水寺古碑群附補修碑の国指定へ向けて、文化庁調査官の推薦を受けるための価値付け調査を行い、関係部局との連携を図る。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	文化財保護法第 93 条、94 条による届出 60 件及び浄水寺古碑群附補修碑の国指定へ向けて、文化庁調査官の推薦を受けるための価値付け調査	届出 61 件中、本調査 2 件、試掘調査 8 件実施。内大塚地区発掘調査では、隣接する大塚古墳の周溝部が確認された。浄水寺古碑群附補修碑の国指定に向けては、古碑群は動産として所有者を宗教法人豊野神社と確定した。

事務局自己評価		
	評　価	文化財調査保存業務のうち、その多くを占めるのは埋蔵文化財の発掘調査であり、これは個人住宅建築から開発行為に至るまで埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う際には必要になってくる事業である。本事業は、文化財保護法に則って文化庁への届出が行われる必要があるため、行政が関与しなければ遂行されない
	課　題	発掘調査のみならず、調査後の整理・報告作業が行えるよう体制の強化を図らなければならない。また同時に、より円滑な事業の推進のために市民や業者に対し、埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の手続きについて周知を図らなければならない。市指定文化財については、大半が旧町の指定文化財となっている。文化財としての位置づけを再調査するとともに、未指定の文化財についても調査を行う必要がある。

<table>
<tr><td></td><td>今後の
対　応</td><td>市民、業者に対し埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の際の手続の周知徹底を図らなければならない。また、円滑な事業推進を行う上での予算確保のため、新規事業として国庫補助の申請を行う必要がある。そのため、自治体内において事業の必要性を説明し、理解を得る必要がある。市指定文化財については、宇城市指定文化財の指定要綱の作成が必要である。</td></tr>
<tr><td>有識者
意　見</td><td colspan="2">埋蔵文化財は、調査・保存・継承・活用が目的となっているが、この活用の部分で国・県・市の指定文化財において、学校等と連携し、広く子どもたちに学習の場として提供し、学芸員を中心に十分な文化財の活用を図ること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教　育
委員会
総合評価</td><td>今後の方向性</td><td>拡　充　・（維　持）・　縮　小　・　改　善　・　完　了</td></tr>
<tr><td>付帯意見</td><td>文化財の活用については、広く市民（特に児童・生徒）に対し、周知し、関係者と連携しながら、文化財の企画展や学校での校外授業など積極的に取り組まれたい。</td></tr>
</table>

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　文化課　文化振興係

事業名	美術館施設収蔵庫管理業務
政策施策名（総合計画）	施策内容にあてはならない事務事業

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					2,059	2,059
	決算額(千円)					1,921	1,921
	執行率(%)					93.3	93.3
人件費(千円)						5,190	5,190
決算額＋人件費						7,111	7,111

事業の目的

宇城市不知火美術館は地方の美術館として評価が高い。市民の美術に関する活動、知識、教養の向上に資するため、美術館収蔵品の維持管理及び施設の維持管理。

平成２５年度　事業内容

美術館の収蔵品は常に温湿度や照明などの影響に配慮した環境で保存・展示に努めている。今回、収蔵庫内のガス燻蒸、空調設備の修繕を行った。

収蔵品は展示機会を増やすように年に数回の入れ替えをし、常設コーナーにて展示を行い、収蔵品展では作品や作家の偏りがないように展示している。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	①毎日の収蔵庫内の保存管理。 ②収蔵作品の修復を行う。 ③収蔵庫内の燻蒸を行う。 ④収蔵品コーナーの展示品の入れ替え（６回）を行う。	①収蔵庫内の温湿度計測を行い、変化が見られた際には対処し保管環境を整え維持管理に努めた。展示室の空調修理を行った。②収蔵作品（油絵）１点を修復した。③虫害対策として収蔵庫内の燻蒸を行った。④常設コーナーの展示４回を行った。

事務局自己評価		
	評価	収蔵作品の修復予算を計上することにより、収蔵作品の修復をすることが可能となった。
	課題	計画的に収蔵品展ができるように収蔵品の適正な保存・管理に努める。
	今後の対応	絵画作品維持管理の長期計画を立て、美術品価値の衰退をおさえる。

有識者意見	収蔵品の常設コーナーにおいては、出来るだけ多くの展示品の入れ替えを行うこと。展覧会においても、有名な作品等と抱合せて、多くの収蔵品の展示が出来るように努めること。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	有識者意見を踏まえて、今後、美術関係者と連携し、精査検討を行うこと。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　スポーツ振興課　スポーツ振興係

事　業　名	宇城市体育協会補助金	
政策施策名（総合計画）	2	白寿へいざなうセルフケアの確立　～ＱＯＬ向上を目指す健康社会の形成～
	05	スポーツ・レクリエーション
	3	スポーツ指導者の育成と組織強化

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)					17,000	17,000
	決算額(千円)					17,000	17,000
	執行率(%)					100	100
人件費(千円)						225	225
決算額＋人件費						17,225	17,225

事業の目的

宇城市内におけるスポーツ振興を図り、市民の体力向上とスポーツの技術向上に努め、健康増進並びに健全な心を養い、地域住民の親睦と融和を図ることを目的とする宇城市体育協会に対して運営及び事業費として補助金を交付する。

平成２５年度　事業内容

体育協会の主な事業としては、県民体育祭の派遣に関すること、熊日（男子・女子）駅伝大会に関すること及び宇城市ロードレース大会等があり、その事業等に対して補助金を交付する。

	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
目標と実績	補助基準を明確にするため、補助金交付要綱を制定する。	補助金については、前年度より 50 万円減額したものの補助金交付要綱の制定には至らなかった。

事務局自己評価	評　価	スポーツ振興のため体育協会の役割は非常に大きいが、協会の役割と行政の関与の在り方を明確にする必要がある。
	課　題	事業内容等の精査を行い、補助基準を明確にして補助金交付要綱を制定し補助金を見直す。
	今後の対応	他の自治体の状況を把握して補助金の見直しに向けて取り組む。
有識者意見	支部体育協会及び種目協会の活動状況等を把握すること。県民体育祭での更なる上位入賞を期待する。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	支部体育協会や種目協会の活動状況及び他の自治体の状況を把握して、補助基準を明確にするため、補助金交付要綱を制定して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　ｽﾎﾟｰﾂ振興課　ｽﾎﾟｰﾂ振興係

事業名	各種スポーツ大会・教室開催に関する業務						
政策施策名（総合計画）	2	白寿へいざなうセルフケアの確立～ＱＯＬ向上を目指す健康社会の形成～					
	05	スポーツ・レクリエーション					
	1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進					
事業費 項目		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
予算額(千円)					315	7,016	7,331
決算額(千円)					455	6,201	6,656
執行率(%)					144.4	88.4	90.8
人件費(千円)						13,665	13,665
決算額＋人件費					455	19,866	20,321

事業の目的

市民のスポーツに対する意識の高揚を図るために、スポーツ関係団体と連携して各種大会・教室を開催して、市民にスポーツに接する機会の提供を目的とする。併せて、「健康づくり」、「いきがいづくり」、「地域のコミュニティー形成」等を支援する。

平成２５年度　事業内容

体育協会及びスポーツ推進委員協議会等と連携して、別紙事業を実施した。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	既存のスポーツ大会や教室の充実、市民のニーズに合った新たなスポーツ大会や教室の開催及びニュースポーツの振興を図る。	平成２５年度は、毎年開催している各種大会、教室（別紙のとおり）に加え、ＶリーグのＪＴマーベラスの選手・監督を講師に宇城管内の小中学生を対象にバレーボール教室を開催した。

事務局自己評価		
	評価	現在開催している教室・大会は、毎年同じイベントとなっている。継続して行ったが良いイベントと、そうでないイベントの区別をつけいろんな分野に目を向けニーズや効率を重視したイベント開催をおこなうべきである。
	課題	市民のニーズに合った教室・大会を行うためには、行政で行なう事業とスポーツ関係団体で行う事業の洗出しが必要である。
	今後の対応	行政で行なう事業と、関係団体で行なう事業の区別がわかりづらく検証が必要。行政で行なう事業については、スポーツ振興計画に基づき、市民のニーズを把握し、方向性を定めてスポーツの推進に取り組む。
有識者意見	合併して１０年を迎え、旧町からの事業（各種大会・各種教室）及び同種目開催の事業については、見直しを行い、新たな事業に取り組む。また、参加者が旧町に限られる事業についても見直しをする。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	事業（各種大会・各種教室）の整理については、関係機関と協議をしながら進めて頂きたい。

別紙

平成２５年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
4	4月28日（日）	豊野町婦人会ミニバレー	豊野町婦人会	112	豊野町婦人会・市スポーツ推進委員協議会豊野支部	豊野ｽﾎﾟｰﾂ振興係
5	5月18日（土）	宇城市少年野球教室	市内小学生クラブ	60	支所スポーツ振興係	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	5月26日（日）	松合校区運動会	松合校区区民	560	運動会実行委員会	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
6	6月1日（土）2日（日）	宇城市三角Ｂ＆Ｇ会長杯ミニバスケットボール大会	市内小学生	184	市バスケットボール協会	三角スポーツ振興係
	6月22日（土）	ＪＴバレーボール教室	宇城管内小中学生	200	市バレーボール協会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
7	7月10日（水）	ミニバレー大会	宇城市民（一般）	81	市スポーツ推進委員協議会不知火支部	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	7月20日（土）21日（日）	みなと祭り協賛体育行事（剣道・卓球・弓道・バド）	県内小中高生・一般	542	各種目協会	三角スポーツ振興係
8	8月8日（木）	熊本県Ｂ＆Ｇスポーツ大会	県内小中学生	288		三角スポーツ振興係
	8月18日（日）	ちびっこトライアスロン大会	小学生	80	市スポーツ推進委員協議会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
9	9月1日（日）	宇城市三角Ｂ＆Ｇ会長杯少年柔道大会	県内小学生	133	市柔道協会	三角スポーツ振興係
	9月1日（日）	小川町行政区対抗ソフトボール大会	小川市民	中止	市教育委員会･小川公民館	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	9月8日（日）	市民体育祭（郡浦・大岳）	郡浦・大岳地区区民	668	郡浦・大岳地区体育会	三角スポーツ振興係
	9月29日（日）	市民体育祭（河江校区）	校区民	1000	小川支部体育協会	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	9月～11月	陸上教室	市内小学生	延べ1000	熊本大学陸上部	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
10	10月6日（日）	市民体育祭（戸馳）	戸馳地区区民	599	三角地区体育会	三角スポーツ振興係
	10月6日（日）	市民体育祭（小川・小野部田校区）	校区民	中止	小川支部体育協会	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	10月12日（土）	宇城小川町コスモスジョギング大会	宇城市他	140	小川町陸上競技協会	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	10月13日（日）	市民体育祭（三角）	三角地区区民	610	三角地区体育会	三角スポーツ振興係
	10月13日（日）	不知火校区体育祭	不知火校区区民	1430	体育祭実行委員会	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	10月13日（日）	市民体育祭（松橋町４校区）	校区民	4430	松橋町各校区体育会	松橋ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	10月13日（日）	豊野町体育祭	豊野市民	延べ2600	豊野支部体育協会	豊野ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	10月13日（日）	市民体育祭（海東校区）	校区民	350	小川支部体育協会	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係

平成２５年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
11	11月3日(日)	市スポレクフェア	宇城市民	200	市スポーツ推進委員協議会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	11月10日(日)	小川地区中学女子ソフトボール大会	県内中学女子	中止	小川中ソフトボール部後援会	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	11月17日(日)	不知火みかん狩りウオーキング大会	熊本県下	99	不知火支部体育協会	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	11月17日(日)	上村春樹旗小川柔道大会	県内小中学生及び招待中学	350	上村春樹旗柔道大会実行委員会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	11月24日(日)	市武道祭（剣道大会）	小中学生	475	武道大会実行委員会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	11月30日(土)	江藤省三野球教室	市内中学生	50	松橋スポーツ振興係 松橋軟式野球クラブ	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
12	12月1日(日)	健康づくり町内各小学校部活動対抗駅伝大会	小川町在住（一般・小中高生）	230	市・教育委員会・小川公民館	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
1	1月19日(日)	三角ランラン駅伝	宇城市民	104	体協・市ｽﾎﾟｰﾂ推進委員協議会三角支部	三角スポーツ振興係
2	2月15日(土)	キンボール大会	宇城市民（一般･子ども）	92	市スポーツ推進委員協議会不知火支部	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	2月16日(日)	市武道祭（弓道大会）	小中学生	84	武道大会実行委員会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	2月22日(土)	宇城市少年サッカー大会	市内小学生	206	市サッカー協会（三角支部）	三角スポーツ振興係
	2月.23日(日)	町内健康づくり駅伝大会	宇城市民	250	市・教育委員会・小川公民館	小川ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	2月.23日(日)	不知火デコポン駅伝大会	熊本県下	161	不知火支部体育協会	不知火ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	2月～3月　全4回	小学生バレーボール教室	管内小学生４年～６年	延べ104	宇城市バレーボール協会松橋支部	松橋ｽﾎﾟｰﾂ振興係
3	3月2日(日)	市武道祭（柔道大会）	少年の部	137	武道大会実行委員会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	3月.9日(日)	ふれあいスポーツフェスティバル	市内小学生	400	市スポーツ推進委員協議会・青少年市民会議小川支部	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	3月16日(日)	市武道祭（柔道大会）	中学の部		武道大会実行委員会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	3月21日(金)	市健康フェア（ニュースポーツ紹介）	宇城市民	70	市スポーツ推進委員協議会	ｽﾎﾟｰﾂ振興係
	3月.23日(日)	豊野町さくらマラソン大会	小・中学生・一般	220	豊野支部体育協会	豊野ｽﾎﾟｰﾂ振興係

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　世界遺産推進室世界遺産推進係

事業名	三角西港国重要文化財詳細測量業務委託事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	04	文化・伝統					
	2	文化遺産の保存と活用					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)		1,522			1,523	3,045
	決算額(千円)		1,522			1,523	3,045
	執行率(%)		100			100	100
人件費(千円)						2,250	2,250
決算額＋人件費			1,522			3,773	5,295

事業の目的

既に重要文化財指定されている石積埠頭等については、文化庁から保存活用計画の策定が求められている。平成２５年度は、保存活用計画策定に合わせてその基礎資料である平面図等の作成に取り組む。

平成２５年度　事業内容

三角西港を将来にわたって保存するため、保存活用計画の基礎資料となる建造物（道路橋）詳細測量図を作成する。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	測量面積　１０９㎡	測量面積　１０９㎡

事務局自己評価		
	評価	平成２４年度からレーザー測量を採用しており、コスト低減が図られている。
	課題	重要文化財を保全するための詳細測量業務であるため、当該事業に直接関係する受益者が存在しない。
	今後の対応	重要文化財を保全するための必要最小限の業務であり、正確な測量とコスト低減に努める。
有識者意見	国重要文化財を保全するための必要最小限の詳細測量であり、コスト低減は図られている。今後は、世界文化遺産の登録に向け、努力して頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	本事業は、国重要文化財を保全するための必要最小限の詳細測量であり、平成２６年度で完了の予定である。今後は、国重要文化的景観の選定及び世界文化遺産の登録に向け、鋭意努力して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　学校給食課

事　業　名	学校給食提供事業
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)				5,879	38,617	44,496
	決算額(千円)				5,879	37,632	43,511
	執行率(%)				100	97.4	97.8
人件費(千円)					0	112,469	112,469
決算額＋人件費					5,879	150,101	155,980

事業の目的

学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実に努めることにより、学校における食育の推進を支援し、広く児童生徒の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

平成２５年度　事業内容

【給食提供数】・三角小学校（240 食）・青海小学校（89 食）・小野部田小学校（110 食）・河江小学校（404 食）・小川小学校（171 食）・海東小学校（107 食）・三角中学校（204 食）・小川中学校（439 食）・不知火センター（693 食）・松橋センター（2,728 食）・豊野センター（376 食）合計 5,561 食

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	学校給食の充実及び食育の推進 地産地消の促進 学校給食の衛生管理の徹底 安心・安全な給食の提供	栄養教諭等による、各学校への訪問食育推進授業 地産地消利用率　５２％ 食物アレルギー対応食提供数　60 名

事務局自己評価		
	評　価	調理員における衛生研修を年３回行い、衛生面の徹底を図ることができ、食中毒の事故もなく給食を提供することができた。また、各施設において毎月の献立にふるさとくまさんデーを取り入れる等、地産地消促進にも努めた。
	課　題	児童・生徒数の減少や施設等の老朽化に伴い修繕や機械器具の入れ替えなど、年々増加の傾向にあり維持費が増えているため、給食施設の再編を検討する。
	今後の対　応	児童・生徒数の減少や施設・機械器具の老朽化や他の自治体の運営状況を把握しながら、給食施設の統廃合（センター方式・親子方式等）や民間委託を検討する必要性がある。
有識者意見	給食の提供単価にセンターと単独校ではかなりの差がある。地産地消の推進や、アレルギー食の提供等を考慮しながら、提供単価を均等にできるよう施設の統廃合（センター方式・親子方式等）や民間委託等を進めて頂きたい。	

教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	安心安全な学校給食の提供に努めて頂きたい。 また、施設の統廃合（センター方式・親子方式等）の検討を進めて頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　学校給食課

事業名	学校給食施設維持管理事業
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					23,854	23,854
	決算額(千円)					23,363	23,363
	執行率(%)					97.9	97.9
人件費(千円)						53,841	53,841
決算額＋人件費						77,204	77,204

事業の目的

児童・生徒に安心・安全な給食を提供するために、衛生的な環境及び施設整備を図り、学校給食衛生管理基準を遵守した施設環境に努めることを目的とする。

平成２５年度　事業内容

【修繕】・三角小学校４件（131,670円）・青海小学校２件（51,975円）・河江小学校７件（477,593円）・小川小学校１件（83,528円）・海東小学校１件（19,950円）・三角中学校１件（24,675円）・小川中学校４件（228,375円）・給食センター（3,717,652円）　【備品購入】・青海小学校（エアコン 98,700円・浸漬シンク 163,800円）・小川小学校（真空冷却機 2,283,750円・金網ザル 10,080円）・河江小学校（ＩＨ炊飯器 127,050円・洗濯機 41,790円）・給食センター（14,058,070円）　【工事】・給食センター（1,843,800円）

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	突発的や計画的な施設設備の修繕及び機械器具購入	早急を要する修繕や計画的な修繕及び機械器具の購入ができた。 【修繕】　4,735,418円【備品購入】16,783,240円【工事】　1,843,800円

事務局自己評価		
	評価	施設の老朽化に伴い、当初の計画よりも突発的な修繕や機械器具の故障による修理不能のための（年数・年式が古いため交換部品がない等）備品購入費が増加している。
	課題	施設や機械器具の老朽化に伴い、修繕箇所は突発的なものが年々増えている。また、年数が経過している機械器具は、部品の交換が出来なく、新しく買換えの必要性も高くなっている現状である。
	今後の対応	施設や機械器具の老朽化や他の自治体の運営状況等を把握しながら、給食施設の統廃合（センター方式・親子方式等）や民間委託を検討する必要性がある。

有識者意見	
	施設や機械器具の老朽化により維持管理経費がかなりかかっている。松橋センターの建て替えの際には、センターの統合や単独校の統合をできる限り進めて頂きたい。 また、センターに統合できないところは親子方式を進めて頂きたい。

教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・(改善)・完了
	付帯意見	安心安全な学校給食の提供に努めて頂きたい。 また、施設の統廃合（センター方式・親子方式等）の検討を進めて頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　生涯学習係

事業名	放課後子ども教室事業	
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	03	生涯学習
	1	生涯学習の充実

事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)		1,050			969	2,019
	決算額(千円)		1,006			687	1,693
	執行率(%)		95.8			70.9	83.9
人件費(千円)						1,875	1,875
決算額＋人件費			1,006			2,562	3,568

事業の目的

放課後または長期休暇等に小学校の余裕教室等を活用し、安全安心な子どもの活動場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行う。

平成２５年度　事業内容

宇城市立松合小学校、小野部田小学校、小川小学校において実施。

〔松合小：児童 47 人、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 29 人　月～金実施〕習字、パソコン、そろばん、読み聞かせ、昔遊び等

〔小野部田小：児童 30 人、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 36 人　月・水実施〕教科学習、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ、茶道体験等

〔小川小：児童 18 人、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 9 人　火・木実施〕ぐんぐん算数教室（プリント学習等）

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	参加児童数、参加ボランティア数の増加	参加児童数は前年比 84.0%と減少、ボランティアは 124.6%に増加した。

事務局自己評価		
	評価	児童の学力やコミュニケーション能力の向上とともに、地域住民の生きがいづくりにつながっている。
	課題	ボランティアを常に確保しておく必要があるため、ボランティアの発掘とともに後継者の育成が必要である。
	今後の対応	ボランティアの確保に努めるとともに、公民館講座の受講者等を活用し、新規のボランティア発掘に努める。

有識者意見	地域住民の生きがいづくりにも重要な役割を果たす事業である。また、公民館講座等で学んだことを活かす受け皿にもなる。出来るだけ費用をかけない方向で、事業を拡大してほしい。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	(拡充)・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	補助金の内容に変化も考えられるので、国の動向をしっかり確認しながら、予算の確保をするとともに、公民館講座の受講者等新規のボランティアの発掘に努め、事業を展開して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　生涯学習係

事業名	地域教育コーディネーター育成・活用事業					
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	03	生涯学習				
	1	生涯学習の充実				
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
予算額(千円)		730			918	1,648
決算額(千円)		730			852	1,582
執行率(%)		100.0			92.8	96.0
人件費(千円)					1,875	1,875
決算額＋人件費		730			2,727	3,457

事業の目的

地域住民の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、授業等における学習補助や教員の業務補助などの学校支援を行う体制づくりを推進し、引いては子どもの「生きる力」を育むことを目的とする。

平成２５年度　事業内容

学校支援ボランティアとの連絡調整を行うコーディネーターを２人配置し、主に学習支援、登下校時の見守りボランティア、環境整備等の活動に取り組んでいる。学習支援回数 119 回、学習支援ボランティア実人数 247 人、延べ 691 人、環境整備（花壇３回）、丸付けボランティア：月３回、登下校見守り：毎日（延べ 1,950 人）

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	学習支援ボランティア数の増加と支援回数の増加	ボランティア数は前年比 173.9%、支援回数は 102.7%と増加した。

事務局自己評価		
	評価	コーディネーターによる学習支援ボランティアの確保が大きな成果を出しており、運営会議においても学校から「大変助かっている。」との感想が聞かれた。また、学校に行き子どもたちの笑顔を見るのが生きがいとの声が聞こえ、子どもたちのコミュニケーション能力の向上とともに、地域住民の生きがいづくりにもつながっており、相乗効果が表れている。
	課題	有効な事業であり実施校を拡大していきたい。しかし、補助金の上限額が決められており、予算が限られている。
	今後の対応	予算の範囲内でコーディネーターが活動できるように分かりやすい資料を作成したり、事前に学校への説明を行うなどの工夫を凝らす。
有識者意見	学校の事業に対する認知度が低いと思われる。学校でどんな地域連携をしているのか調査し、ボランティアの人材バンクを作り、学校に対して必要な情報を発信するなどの取り組みの拡大をお願いしたい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	(拡充)・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	現在、三角町で事業拡大に向けて取り組まれている。市費をかけないで事業を拡大できるよう学校と打合せながら進めて頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　生涯学習係

事　業　名	宇城っ子のつどい	
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	02	社会教育
	1	青少年育成施策の推進

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)				220	676	896
	決算額(千円)				220	668	888
	執行率(%)				100.0	98.8	99.1
人件費(千円)						2,250	2,250
決算額＋人件費					220	2,918	3,138

事業の目的

野外活動や集団生活を通してお互いの友情を深め、団体生活の楽しさや厳しさを学ばせるとともに、リーダーの育成を図る。

平成２５年度　事業内容

宇城市内の小学校５・６年生を対象に、８月１２日～１４日（２泊３日）にかけ、国立諫早青少年自然の家において、沢登り等の野外活動や野外炊飯を実施。

○参加者　小学５・６年生５５名・高校生リーダー１９名（宇土高校・松橋高校・小川工業高校）
中学生リーダー７名（宇城市内）・職員６名　　計８７名

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	参加児童数の増加、参加ボランティア数の増加	参加児童数前年比 112.2%、参加ボランティア数前年比 325.0%と増加した。

事務局自己評価		
	評　価	参加小学生はもちろんのこと、中学生ボランティア、高校生ボランティアと各年代における育成ができたことは大きな成果といえる。
	課　題	学校行事や部活動、地域の行事、塾、習い事等子どもたちの活動も多いので、スケジュール調整が困難である。
	今後の対　応	施設の予約を早めに行い、学校を通じて早めに子どもたちや保護者に周知する。
有識者意見	リーダー育成につなげる事業の在り方は評価できる。１回だけではなく数回の事業として実施し、さらに人材の育成を図って頂きたい。	

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	(拡　充)・維　持・縮　小・改　善・完　了
	付帯意見	今後も研修施設、プログラム内容等について検討し、さらに有意義な研修となるよう事前及び事後研修を実施し、将来の宇城市を担う人材の育成を図ってほしい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　生涯学習係

事　業　名	「宇城市教育の日」フェスティバル
政策施策名（総合計画）	施策内容に当てはまらない事務事業

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)					1,154	1,154
	決算額(千円)					1,143	1,143
	執行率(%)					99.0	99.0
人件費(千円)						2,250	2,250
決算額＋人件費						3,393	3,393

事業の目的

宇城市が取り組んでいる様々な教育活動を広く知らしめるとともに、音楽や講演等を通して、学ぶことの楽しさや学習意欲の高揚を図り、さらに教育の活性化についてみんなで考える契機とする。

平成２５年度　事業内容

１１月１０日（日）午後１時００分からウィングまつばせにおいて実施。

オープニングセレモニー：歌手ＭＩＣＡ
揮　　毫：書家　金澤翔子さん
基調講演：書家　金澤泰子さん
『ダウン症の子どもを育てて学んだこと
～　天使がこの世に降り立てば　～』
ホワイエ：教育部の取組みを紹介

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	参加者数：８００人	参加者数：９００人

事務局自己評価		
	評　価	立ち見が出るほどの盛況ぶりであった。教育分野と福祉分野を融合させた企画に、多くの市民が興味を持って参加したものと思われる。
	課　題	市民のニーズを的確に把握し、時代に応じた内容を企画するとともに、教育分野における必要課題を織り込むこと。
	今後の対　応	主たる対象としては子育て世代であるため、興味を示すような講師の選定を行う。

有識者意見	これまで教育の日の事業として講演会をやっている。講演会にこだわるのではなく教育月間のシリーズとして、一つの流れにまとめて行事をしていくという形で実施し、その中で教育が必要だという市民に呼びかけるような行事を開催して頂きたい。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	(拡　充)・維　持・縮　小・改　善・完　了
	付帯意見	教育月間のシリーズとして、それぞれの課で実施している事業を一つの流れにまとめ、その期間中に教育部全体で取り組んで実施する事業については教育部全体で検討していく必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　人権教育係

事　業　名	人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	02	社会教育					
	2	人権教育の普及・啓発の推進					
事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)		439			1,289	1,728
	決算額(千円)		439			1,012	1,451
	執行率(%)		100			78.5	84.0
人件費(千円)						3,855	3,855
決算額＋人件費			439			4,867	5,306

事業の目的

人権文化の創造に向けて、あらゆる人権問題の解決のため、行政・学校・家庭及び地域が一体となり、差別意識の解消、そして一人一人の基本的人権を尊重する学びの場、啓発の場とする。また、豊かな人権感覚を身につけ、すべての市民が宇城市に生まれてきて良かったと思えるような、地域社会を築きあげることを目的とする。

平成２５年度　事業内容

市内５か所（旧町）で開催。各会場とも講演会と併せて保育園、小・中・高校、支援学校と連携をとり、ステージ発表や人権ポスター・標語などの展示を行った。

	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
目標と実績	例年通り５会場開催し、どの会場も参加者増を目指す。	11月30日(土)　豊野公民館 講演　人権バンド「願児我楽夢」 豊野保・豊野小・豊野中　337人 12月7日(土)　不知火公民館 講演　人権漫才「としえ&みさお」 不知火保・不知火小・松合小・不知火中　394人 12月14日(土)　ウイングまつばせ 講演　中倉茂樹さん まつにし太鼓・松橋保・４小・松橋中　449人 1月18日(土)　三角公民館 講演　大湾 昇 さん ３保育園・青海小・三角小・三角中　490人 1月25日(土)　ラポート 講演　人権バンド「ホライズン」 アソカ太鼓・河江保・海東小・小川小・手をつなぐ育成会 466人

<table>
<tr><td rowspan="3">事務局
自己評価</td><td>評　価</td><td>市民の参加を促すため、新しく４つの取組を実施したが、全体的に参加者の増加へはつながらなかった。周知においても、あらゆる手段を尽くして実施しているが、参加者の増加へはつながっていない状況である。ただ、初めて参加したという人がアンケートの結果から２１％程度おられるということで、少しは広がりのあるフェスタとなっていると思われる。</td></tr>
<tr><td>課　題</td><td>保護者の途中退席が多い。出演者を除く参加人数がフェスタを始めた平成18年の1,919人に比べ、平成23年からは1,500人台で推移しており、少しでも市民の参加者を増やす。</td></tr>
<tr><td>今後の
対　応</td><td>開催日、プログラム、講師、開催時間等について、関係機関や各種団体等と連携しながら検討する。今までどおり各種団体等に参加の呼びかけを行うとともに、教職員、PTA、市職員の呼びかけを行う。また、保護者の途中退席については、保育園、学校を通し全プログラムへの参加をお願いするとともに、プログラムの検討を行う。</td></tr>
<tr><td>有識者
意　見</td><td colspan="2">人権フェスタを自分の身近な場所でするとことはとても良いと考える。保護者の途中退席が無いようにプログラムを検討して頂きたい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教　育
委員会
総合評価</td><td>今後の方向性</td><td>(拡　充)・維　持・縮　小・改　善・完　了</td></tr>
<tr><td>付帯意見</td><td>宇城市の目指す「差別のない人権のまち」づくりに向けて、今後も５会場で実施して頂きたい。
また、もっと参加人数が増えるよう工夫して頂きたい。</td></tr>
</table>

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　人権教育係

事　業　名	人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	02	社会教育					
	2	人権教育の普及・啓発の推進					
事業費 項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計	
予算額(千円)					755	755	
決算額(千円)					460	460	
執行率(%)					60.9	60.9	
人件費(千円)					4,230	4,230	
決算額＋人件費					4,690	4,690	

事業の目的

子どもたちが部落問題をはじめ様々な人権問題について学び、学習を通して正しい知識をそなえ、豊かな人権感覚を身につけることを目的に学習会を実施。

平成２５年度　事業内容

２つの学習会があり「差別をなくす行動ができる子どもの育成となかまづくり」（おもやい学習会）は、教育委員会で計画立案し様々な人権学習を実施、「差別に立ち向かうたくましい心を持つ子どもの育成となかまづくり」（きずな学習会）は、教育委員会が委嘱した教職員が計画立案し解放学習（人権学習）、進路学習を実施している。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	昨年度より参加者を増やす。	**おもやい学習会** ◇小学生：第２・４水曜日（16:00～17:30）全24回 ◇中学生：第１・３月曜日（17:00～18:30）全23回 **きずな学習会** ◇小学生：毎週月曜日　全26回 ・低学年(17:30～19:00) ・高学年(19:30～21:00・夏時間)、(19:00～20:30・冬時間) ◇小学生：第１・３水曜日　全14回 ・全学年(17:30～19:00) ◇中学生：毎週水曜日　全32回 (20:00～21:30・夏時間)、(19:30～21:00・冬時間) ◇高校生：毎週金曜日　全30回 (20:00～21:30・夏時間)、(19:30～21:00・冬時間)

<table>
<tr><td rowspan="3">事務局
自己評価</td><td>評　価</td><td>人権同和教育を小さい頃から繰り返し学ぶことにより、子どもたちの豊かな人権感覚を育むことができ、中心となる同和問題についてはしっかりと学びができているが、その他のプログラムについては内容の検討も必要である。</td></tr>
<tr><td>課　題</td><td>おもやい学習会の小学生においては、低学年から高学年まで全学年を対象とした学習会であるため年齢の幅が大きく、プログラムの選択で難しいところがある。中学生においては、３年生は受験もあるため年度後半に参加者の減少がみられるため、プログラムの内容及び日程を検討する必要がある。
旧豊野町で始まったふれ愛学習会（旧解放学習会）であるため現在豊野町の児童生徒のみを対象に実施しているが、人権感覚育成のためには、その他の地域でも学校と連携を取ながら人権教育の学習会実施の必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の
対　応</td><td>いままでは、「おもやい」と「きずな」それぞれの指導者でプログラムを作成し実行してきたが、今後は地域人権教育指導員や教職員と連携をとりながら、より充実したプログラム作成と日程調整に努める。
旧豊野町以外での学習会については、現在の継続した学習会は時間的にも厳しいため、単発の学習会を学校ごとに計画する。</td></tr>
<tr><td>有識者
意　見</td><td colspan="2">人権教育は非常に必要な事業である。旧豊野町でのふれ愛学習会の実施とともに、各学校と連携し、旧豊野町以外での学習会についても進めてほしい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教　育
委員会
総合評価</td><td>今後の方向性</td><td>(拡　充)・維　持・縮　小・改　善・完　了</td></tr>
<tr><td>付帯意見</td><td>現在のふれ愛学習会の実施とともに、旧豊野町以外での学習会についても、学校と打合せながら進めて頂きたい。</td></tr>
</table>

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　中央公民館係

事業名	講座の開設、運営に関すること						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	03	生涯学習					
	1	生涯学習の充実					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					392	392
	決算額(千円)					86	86
	執行率(%)					21.9	21.9
人件費(千円)						19,440	19,440
決算額＋人件費						19,526	19,526

事業の目的

参加者自身の社会参加や生きがいづくり・健康・文化・教養の向上を目指し個人総合的ＱＯＬ（生活の質）向上を目的とする。

平成２５年度　事業内容

高齢者を対象にした高齢者学級講座を三角町（三角、戸馳、太田尾、郡浦、大岳）５学級、不知火町、松橋町、小川町、豊野町で開催した。地域婦人会の会員や一般参加者の方を対象に募集し、女性（婦人学級）を三角町、不知火町、松橋町、豊野町で開講した。公民館主催講座を５公民館でグラスアート他 12 講座開催した。

	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
目標と実績	参加延べ人数 高齢者学級 4,154 人（24 実績） 婦人学級　824 人　（24 実績） 主催講座(16 講座) 1,578 人(24 実績) 計 6,556 人（24 実績）	参加延べ人数 高齢者学級 4,223 人 婦人学級　773 人 主催講座（13 講座）909 人 計 5,905 人

事務局自己評価	評価	高齢者学級は増加、婦人学級は減少、全体で減少した。公民館新規主催講座で論語・マクロビオティック講座を開催できた。
	課題	市民の講座への受講者を増やす。主催講座の受講生の多くが女性で、男性の受講生が少ない。
	今後の対応	市民のニーズに合った主催講座等の開講や講座のＰＲ方法等を検討し受講生を増やして行く。また、男性向けの講座を開催する。
有識者意見	新しい、魅力的な、ニーズにあった講座の開設も必要だが、主催講座などは自主講座、自主クラブを育成するためのもの、きっかけづくり。自主講座、自主クラブの成果発表の場も必要。発表の場があることにより学びも深まる。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	主催講座から自主講座へ進めるとともに発表の場を検討して頂きたい。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ研修館

事業名	各種講座運営業務						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	03	生涯学習					
	1	生涯学習の充実					
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計	
予算額(千円)					852	852	
決算額(千円)					835	835	
執行率(%)					98.0	98.0	
人件費(千円)					2,940	2,940	
決算額＋人件費					3,775	3,775	

事業の目的

市内誘致企業等の社員の福利厚生及び市民の文化活動・生きがい作りを推進するため。

平成２５年度　事業内容

主催講座として、木工芸、陶芸夜間、陶芸水曜（各全20回）や淡彩画（全16回）パステルアート（全17回）や単発講座の夏休み親子講座（5講座）冬の単発講座（1講座）を開講し、市在住・若しくは勤務の方の多数の受講者があった。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	講座受講延べ人数 5,550人（主催講座H24　895人） 利用者延べ人数　7,650人	講座受講延べ人数 5,276人（主催講座　897人） 利用者延べ人数　8,087人

事務局自己評価		
	評価	講座（主催・自主）参加者は目標を下回ったが施設の総利用者は増加した。
	課題	施設設備等を生かした講座の開設で利用者の増加を図る。
	今後の対応	利用者のニーズに合った主催講座を行うためにも、今後とも情報収集等を行い利用者を増やして行く。
有識者意見	新しい、魅力的な、ニーズにあった講座の開設も必要だが、主催講座などは自主講座、自主クラブを育成するためのもの、きっかけづくり。主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・(維持)・縮小・改善・完了
	付帯意見	主催講座から自主講座へと繋がるよう支援をしていく必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　生涯学習課　働く女性の家

事　業　名	各種講座運営業務	
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～
	03	生涯学習
	1	生涯学習の充実

事業費	項　目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合　計
	予算額(千円)					553	553
	決算額(千円)					442	442
	執行率(%)					79.9	79.9
人件費(千円)						4,860	4,860
決算額＋人件費						5,302	5,302

事業の目的

職業生活と家庭生活の調和や日常生活を豊かにするため、スポーツやレクレーション、文化教養等幅広い学習の場としての機会をあたえる。

平成２５年度　事業内容

主催講座として、野菜ソムリエと作る料理教室、リフレッシュヨガ、スポーツ吹矢、初心者ミニバーレーボール教室、美文字教室など（各全 8～20 回）や単発講座では、出汁教室、シフォンケーキ、男性限定！筋力アップ、絵手紙、クリスマスを彩るパーティ料理、美肌料理、メイクとヘアメイク、家族が喜ぶ和食料理、健康マージャンを開催した。

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	利用者延べ人数 11,400 人 主催講座受講人数 H24 年度 677 人	利用者延べ人数 10,519 人 主催講座受講人数　755 人

事務局自己評価		
	評　価	講座全体（主催・自主）の利用者は減少したが、新たに野菜ソムリエと作る料理教室、リフレッシュヨガ、スポーツ吹矢、初心者ミニバーレーボール教室、美文字教室などを実施したため主催講座の受講者は増加した。
	課　題	魅力ある講座の開催で利用者の増加を図る。
	今後の対　応	利用者のニーズに合った主催講座等を開催し、また男性も参加しやすい施設として利用者を増やして行く。

有識者意見	新しい、魅力的な、ニーズにあった講座の開設も必要だが、主催講座などは自主講座、自主クラブを育成するためのもの、きっかけづくり。主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	拡　充　・　(維　持)　・　縮　小　・　改　善　・　完　了
	付帯意見	主催講座から自主講座へと繋がるよう支援をしていく必要がある。

平成２５年度　宇城市教育委員会点検及び評価報告書　　中央図書館

事業名	図書館蔵書充実事業						
政策施策名（総合計画）	5	ユニークな文化と心とひとづくり					
	03	生涯学習					
	2	市民に親しまれる図書館づくり					
事業費 項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計	
予算額(千円)					75,353	75,353	
決算額(千円)					70,898	70,898	
執行率(%)					94.1	94.1	
人件費(千円)					64,352	64,352	
決算額＋人件費（千円）					135,250	135,250	

事業の目的

市民が身近な学習の場として図書館を利用することができるように、また、子どもから高齢者まで誰もが気軽に学べる機会づくりを推進し、知識・学習の拠点として図書館蔵書の充実を図る。

平成２５年度　事業内容

図書館の奉仕サービス全般に加え、毎月　新刊・リクエスト及び職員選書会議（5館の調整）を開き、年間を通じて図書の購入を行う。(利用者各層の要求及び社会的な動向を十分配慮し、乳幼児期から高齢期まで広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等の観点に立つ資料を幅広く収集する。)

目標と実績	平成２５年度　達成目標	平成２５年度　実績
	奉仕事業など資料収集、フロアワーク、レファレンスを円滑、適正に行い全域サービスを目指す。	図書購入冊数　中央（不知火）3638冊、三角1602冊、松橋1879冊、小川2295冊、豊野987冊＝合計10,419冊（H24　10,666冊）

事務局自己評価		
	評価	図書資料を5館ネットワークで繋がったことで、利便性が向上した。予算額と照らしながら、購入できた。
	課題	サービス自体が広範囲であり、選書や除籍ができる豊かな経験や専門的な知識を持つ職員の育成が必要である。
	今後の対応	職員のスキルアップを図り、質の高いサービスに繋がるよう　人的環境を整えることによって、図書蔵書の充実が図る。

有識者意見	読書離れの中、図書館の存在の意義は大きい。市民のニーズを把握しながらレファレンス（調べ学習）や選書など図書館サービスの専門的な知識を持つ職員を整備することが望ましい。データー等は重要な資料となるので、正確に算出する。またデーターを比較できるよう継続して動向をみること。

教育委員会総合評価		
	今後の方向性	(拡充)・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	司書資格を有する非常勤・臨時職員をなるべく採用することで、市職員と連携し、図書館のサービスや蔵書の充実を図る必要がある。